

整理番号	HT26174	分野	医歯薬学、その他	(キーワード: 補助犬・作業療法・リハビリテーション医学)
------	---------	----	----------	-------------------------------

## 愛知医療学院短期大学

### 【補助犬と共にリハビリお助け隊～障害適応の作業療法プログラム研究～】

先生(代表者)	原 和子(はら かずこ) 愛知医療学院短期大学・教授			
自己紹介	今日も明日も「したいことがある」「することがある」幸せ。病気や障害を持っていてもそう考え、実現へのお手伝いをするのが作業療法士です。私は作業療法士として身体障害者の分野で、特に義肢装具、福祉機器類が専門ですが、補助犬も作業を助けてくれるパートナーそして動物介在療法という意味で、研究してきました。			
開催日時・主な募集対象	平成26年 8月 2日(土):高校生	(対象)	高校生	(人数) 100名
	平成26年 8月 3日(日):中学生		中学生	30名
集合場所・時間	愛知医療学院短期大学(城北キャンパス)	(集合時間)	10:00～10:30	
開催会場(集合場所)	8月2日:中部盲導犬協会(講堂) 住所:〒455-0066 愛知県名古屋市港区寛政町 3-41-1 8月3日:愛知医療学院短期大学(講堂) 住所:〒452-0931 アクセスマップ: <a href="http://www.yuai.ac.jp/intro/access.html">http://www.yuai.ac.jp/intro/access.html</a>			
内 容				
<p>犬はペットとしてだけでなく、昔から狩猟犬、牧羊犬、警察犬など仕事上のパートナーとして人間との繋がりが深い、特別な存在です。人間の生活や仕事に関連する犬の活躍はリハビリテーション医療の分野でも例外ではありません。動物介在療法での犬、動作や作業のお手伝いをする補助犬(盲導犬、聴導犬、介助犬)は、単に役に立つ犬というだけでなく、病人に勇気や希望を与え、障害者に安心、安全、自信を与えます。</p> <p>今回、中学生、高校生の皆さんに、こうした補助犬の活躍をご紹介します。補助犬の活躍を理解するには実際に触れてみるのが一番です。当日は、日本聴導犬協会から聴導犬、介助犬、その候補犬(犬の中学生、高校生といったところでしょうか)、中部盲導犬協会から盲導犬が参加します。視覚障害、聴覚障害、肢体不自由の障害体験をしながら、様々な動作を補助犬とともに試みて、障害を乗り越えて、できることが広がる楽しさを実感しましょう。</p> <p>補助犬の役割を実体験しながら、グループで課題を話し合い、まとめて発表します。中学生のテーマは「補助犬はロボットとどこが違うか」、高校生のテーマは「補助犬と共に行なう作業療法プログラムを考える」です。</p>				
スケジュール			持 ち 物	
(1日目:高校生、2日目:中学生とも同一日程)			・筆記用具一式	
10:00～10:30 8月2日:受付(中部盲導犬協会 講堂 集合)			・実習がありますので、希望者は、体操着を持参して下さい。	
8月3日:受付(愛知医療学院短期大学 講堂 集合)				
10:30～11:00 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)				

